



川東小だより

第6号

令和5年10月16日

新発田市立

川東小学校

「やるき」「げんき」「ゆうき」「こんき」をもって

校長 岡崎 功一

10月に入り、急に肌寒くなってきましたが、子どもたちは、今月開催されるマラソン大会、文化祭に向けて、意欲的に取り組んでいるところです。このお便りがみなさんのところに配布される頃には、既にマラソン大会も終わっている頃かと思えます。このマラソン大会に向けて、子どもたちは、一人一人目標を立てて取り組んできました。そんな頑張っている姿に清々しさを感じる日々です。

さて、今月は、2つの大きな学校行事があります。そのことに因んで、今月の全校朝会では、次のようなお話をしました。



4本のプラタナスの木のネーミング

みなさんは、学校生活で、「こんなことやりにたくないなあ」「めんどうだ」また、「つかれる」「できっこない」と、思ったことはありませんか。思ったことがある人は、手を挙げてみてください。(ほとんどの子が手を挙げる。)

皆さんの気持ちよく分かります。私も小学校時代にそんな思いをもったことがあります。そこで、私の小学校時代の話をします。私が小学校生活を送ったのは、すいぶん前の昭和の時代でした。まだ、毎週土曜日に授業がありました。対外的な親善スポーツ大会もたくさんありました。ソフトボール大会、水泳大会、陸上大会等、そのシーズンになると、毎日夕方4時半頃まで練習をしていました。私は、「選手として出場したいなあ」「自己記録を更新したい」等、目標を立てて取り組んでいました。しかし一方で、「今日は休みみたい」「疲れるな」と思ったこともあります。だから、皆さんの気持ちもよく分かります。

さて、その結果についてですが、私は、結局、ソフトボールでは、一番強いチームのメンバーには入れずBチームに入りました。水泳大会では、残念ながら選手に選ばれませんでした。陸上大会では、5年生のときは、選手になりましたが、6年生のときは、選手になれませんでした。だから、目標が達成できなかったことが多かったです。しかし、最後までやり続けたことで「技能が向上したなあ」「泳げる距離が伸びた」「自己記録が更新できた」という充実感がありました。自分が伸びた実感がありました。

今月は、マラソン大会や文化祭と大きな行事があります。つらいけど頑張ってみようという

「やる気」「元気」をもって、一歩踏み出して挑戦しようという「勇気」をもって、あきらめないで最後までがんばってみようという「根気」をもって取り組めば、「チャレンジしてよかったなあ。」「自分が成長できたなあ。」と思える活動になると思います。「やる気」「元気」「勇気」「根気」をもって取り組めば必ず得るものがあるはずですよ。

この4つの「気」をみなさんが忘れないようにするために、良い方法を思いつきました。それはグラウンドにある4本のプラタナスの木になぞらえてください。この4本の木は、右側から「やるき」、2本目は「げんき」、3本目は「ゆうき」、4本目は「こんき」です。だから、グラウンドのプラタナスの木を見たら「やる気、元気、勇気、根気をもって取り組みましょう」と、みなさんに呼び掛けていると思ってください。

この10月は、全校で取り組むマラソン大会、文化祭の他に、各学年でもいろいろな教育活動を実施、また予定しています。子どもたちにとって、自分の成長を感じる活動にしていきたいと思えます。